

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2009-22749(P2009-22749A)

【公開日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-169547(P2008-169547)

【国際特許分類】

A 4 7 J 43/28 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 43/28

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月2日(2009.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

円形状の底部の周縁部から側面部が延出して全体としてザル形状となり且つ複数の水きり孔を有すると共に、

外部からの操作により全体が歪み変形し得るシリコンその他の柔軟素材からなり、且つ、当該柔軟素材がザルとして使用できる第一の状態及びひっくり返した第二の状態とし得る柔軟性を備えた一体成型体であることを特徴とする多機能ザル。

【請求項 2】

更に、前記側面部の厚さが 0.7 mm 以上 1.2 mm 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の多機能ザル。

【請求項 3】

前記側面部の上部開口部が当該側面部よりも肉厚であることを特徴とする請求項 1 に記載の多機能ザル。

【請求項 4】

円形状の底部の周縁部から側面部が延出して全体としてザル形状となり且つ複数の水きり孔を有すると共に、

シリコンその他の柔軟素材で一体成型されたものであり、

前記側面部の上部開口部が当該側面部よりも肉厚であり、且つ、前記側面部の縦方向に縦リブを設けたことを特徴とする多機能ザル。

【請求項 5】

前記底部の周縁付近に円状の底リブを設けたことを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の多機能ザル。

【請求項 6】

前記底部は、前記側面部よりも肉厚であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の多機能ザル。

【請求項 7】

前記水きり孔は、1.5 mm 以上 2 mm 以下であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の多機能ザル。

【請求項 8】

更に、前記底部の底面には、複数の突起が設けられていることを特徴とする請求項 1 ~ 7

のいずれか一つに記載の多機能ザル。

【請求項 9】

前記側面部または底部の表面と裏面の防滑性が異なることを特徴とする請求項 1 ～ 8 のいずれか一つに記載の多機能ザル。